

しっかり教えて、貴重な戦力に！

新人教育について

食品取扱事業者は、安全な食品を提供する義務があります。新人には、自身のちょっとした行動が、お客さまの健康や命に直結していることを理解できるよう教育しましょう。今回は、新人教育の重要性と教育のポイント、まず身につけるべき衛生の基本行動についてご紹介します。



新人教育の重要性

安全な食品の提供には、従事者全員の衛生管理が重要です。新人の衛生管理に対する知識が不足していた、行動が徹底できていなかった…などの不備によって、施設内で汚染を拡大させたり、食品事故を起こしてはなりません。とくに経験や知識のない新人には、**食の安心・安全に携わる責任を認識させ、プロとしての自覚をもって従事するよう指導**しましょう。

また、先輩社員などの指導者にとっても日頃の行動、手順を見直す良い機会となります。教育の機会を活かし、企業・組織の衛生管理をレベルアップさせましょう。



教育のポイント

目的を理解・納得させようで指導する

新人にとっては新しい概念も多く、一方的に知識やルールを伝えるだけでは身につけません。

食品取扱事業者の行動は、お客さまの健康や命に直結しています。また、一般的に食品事故などを起こした企業・組織に生じる責任やダメージについても説明が必要でしょう。指導者が実際に手本を示すなどの工夫をしながら、「なぜ行う必要があるのか」「なぜダメなのか」「なぜ着用するのか」など、**新人が理解・納得のうえ、適切に行動できるようにする**ことが重要です。

計画的・継続的な教育を行う

どのようなことから、こういった順で教えるのか、事前に計画を立てようで教育しましょう。また、一度に多くを学び、すべてを覚えられないなどの状況も考えられるため、継続的な教育が必要です。



～教育の記録を残しましょう～

HACCP 制度化を前提に、その基礎となる一般的衛生管理プログラムにおいて、食品取扱者の教育はその内容や履歴を記録し、技能習得度を確認することができるようにする必要があります。実施した教育は、もれなく記録するようにしましょう。



▶▶▶まず身につけるべき衛生の基本行動

教えることはたくさんありますが、まず初めに身につけるべき基本行動として次のことがあります。

適切な手洗い

チェック！ 衛生通信 2017年4月号

「食品衛生は手洗いに始まり、手洗いに終わる」といわれます。手洗いは食品の製造、加工工程において欠かすことのできない大切な過程です。



個人衛生

チェック！ 衛生通信 2017年3月号

新人、ベテラン、役職者など立場の違いに関係なく、それぞれが食品事故発生のリスク要因であることを認識し、行動の目的を理解して取り組むことが重要です。

食品衛生 7S ～まずは整理・整頓！～

安全な食品提供のために重要な「衛生的な施設」を維持管理する「食品衛生7S」の活動。

7Sの最初のステップである「整理」、「整頓」を習慣づけて継続することがポイントです。

チェック！ 衛生通信 2016年1月号



衛生通信バックナンバー <http://www.niitaka.co.jp/products/eisei/index.html>

日頃の良好なコミュニケーションが食品事故を防ぎます

「体調が悪くても突然休むと仲間に迷惑をかける」と無理して調理作業に従事したことで、食品を二次汚染させ食中毒事故が発生した事例があります。「迷惑をかけないように」と考えた行動が、食中毒事故という大きな問題に発展してしまっただけです。

このような場合は、上司へ報告・相談のうえ、「仕事を休む」、「食品に触れる作業に従事しない」などの対応が必要です。病欠などに対応するための体制・対策を整えるとともに、日頃から、新人だけでなく従業員同士のあいさつや、ハウレンソウ（報告、連絡、相談）などのコミュニケーションを良好に保ち、従事者全員で食品事故の防止に努めましょう。

食品事故の防止には従事者全員の衛生管理が重要です。
教育のポイントをふまえ、新人が活躍できるように育てましょう！

お客様の衛生教育をサポートします！

食品衛生の基礎教育に！

ニイタカ衛生教育システム《採用時教育編》

ニイタカ衛生教育システムは、インターネット上で食品衛生について学習できるシステムです。

《特徴》

- ひとりひとりのペースで学習できます
～集合教育、講師不要！従業員教育費のコストダウンに！
- 手洗いや個人衛生など、食品衛生のプロとして必要な心構え、知識を学べます
～最後のテスト結果を印刷して教育記録に！

リーダーや責任者向けの《責任者資格教育編》もあります

※本サービスは弊社製品をご購入のお客さま向けの無償サービスです。詳しくは弊社営業担当へお問い合わせください。

